

鳥取砂丘コナン空港
カーボンニュートラル拠点化協議会 第2回会議
議事要旨（概要版）

1. 日 時：令和5年6月6日（火）14:30～16:00

2. 場 所：鳥取空港国際線ターミナルビル 2F 出国待合室

3. 議事概要：

(1) 開会挨拶、前回協議会の内容紹介

- ・事務局から開催挨拶、前回協議会の内容説明を行った。

(2) 協議会規約について

- ・事務局から構成会員の変更について説明を行った。

(3) 会員名簿について

- ・事務局から会員名簿の変更について説明を行った。

(4) 出席者の紹介について

- ・事務局から出席者の紹介を行った。

(5) アンケート途中経過について

- ・㈱梓設計から鳥取空港におけるCO2排出量に関するアンケートの途中報告を行った。
- ・現時点では、タクシー会社からCO2排出量に関するデータが得られていないため、継続して調査を行う予定。

(6) 脱炭素、BCP取組み(案)について

- ・㈱梓設計から鳥取空港における脱炭素、BCP取組み(案)について説明を行った。
- ・脱炭素取組み案の各評価項目について、鳥取空港の地域特性を加味した評価基準になっているか判断できないため、新千歳空港の視察までにより細かく掘り下げて評価を行う。
- ・コロナによる一人当たりの必要外気量について厚生労働省から既にガイドラインが設定されている。ガイドラインに記載されている必要外気量を満足した上でCO2排出量を削減することを検討する。
- ・BCPの観点から大型施設向けの蓄電池の導入についても、脱炭素取組み案の項目に入れてもよ

いかと思う。

- ・既に導入されている太陽光発電について、現時点では空港側との系統連系を行っていないが、本協議会による一連の検討によって、今後太陽光発電の系統連系を行う可能性はあり得る。
- ・防災上必要な車両等(例えばヘリコプター)について、使用頻度や燃料自体を減らすことはできない。
- ・和歌山県の南紀白浜空港を運営している南紀白浜エアポート様から、南紀白浜が主体となって進める脱炭素化実施策定について地方空港への横展開ができる事業モデルを構築するため、鳥取空港と連携しませんかとお声がけを頂いている。本協議会では実施計画策定による実施義務はないので、あくまでも選択肢の一つであるが、可能であれば積極的に取り組みたい。状況について本協議会で報告させて頂く。

(7) 視察空港の概要について

- ・(株)梓設計から新千歳空港の概要について説明を行った。
- ・鳥取空港の空港車両は、塩害により10年も経過していないうちに劣化することが多い。そのため、塩害についても考慮したうえでCO2排出削減の検討を進めていただきたい。
- ・2030年、2050年までの間に新たな技術などが開発されるかと思われる。それらの新技術に対する導入採否についても積極的に取り組んでいただきたい。
- ・バゲッジハンドリングで荷物運搬の際の外気流入について確認していただきたい。

(8) 令和5年度協議会スケジュール

- ・令和5年6月～令和6年1月までの協議会スケジュールの確認を行った。

以 上